

時間割コード	G1D11325	開講年度	2026				
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (B) (中級)					担当教員	宮坂 るみ
英文授業名	Academic English Phase I (B)						
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・1時限	対象学生	M I (保) (2)
講義室	共通教育 2 4 講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、Academic Writing及びAcademic Speakingの演習を行う。 ・Academic Writing: アカデミック・ライティングの基礎を学び、自然な英語表現を身につけるための演習を行いながら、正確かつ的確な英文を書く。 ・Academic Speaking: 設定したテーマに沿ったペアワークやグループワークなどを通して、自然な英語表現を用いたスピーキングの実践を行う。 *本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。						
(5)授業のキーワード	Academic Writing Academic Speaking Academic Presentation Natural Expression						
(6)授業計画	第1回 オリエンテーション Unit1 What Are Sustainable Development Goals? 第2回 Unit1 What Are Sustainable Development Goals? 第3回 Unit2 What Is a Woman-Friendly Society? /Quiz1 第4回 Unit2 What Is a Woman-Friendly Society? 第5回 Unit3 Does Saving Infant's Lives Slow Population Growth? /Quiz2/Writing1提出 第6回 Unit3 Does Saving Infant's Lives Slow Population Growth? 第7回 Unit4 Can Technology Solve the Water Crisis? /Quiz3 第8回 Unit4 Can Technology Solve the Water Crisis? 第9回 Unit5 How Can Quality Education for All Be Achieved? /Quiz4 第10回 Unit5 How Can Quality Education for All Be Achieved?/Writing2提出 第11回 Unit6 What Does It Mean to Be a Sustainable City? /Quiz5 第12回 Unit6 What Does It Mean to Be a Sustainable City? 第13回 Unit7 Will Black Companies Survive in the Future? /Quiz6 第14回 Unit7 Will Black Companies Survive in the Future? 第15回 まとめ 授業アンケート /Quiz7						
(7)成績評価の方法	期末テスト (Speakingテスト/ Final Discussion/Final Writing) 40% クイズ 35% ライティング課題 25% 各課題のルーブリックは授業内で提示します。						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・授業各回で事前事後学習について指示します。また、授業で学んだ語彙・表現・文法事項などを復習して下さい。						
(10)履修上の注意	PCを使用しますので持参してください。						
(11)質問、相談への対応	不明な点や疑問があれば遠慮せずに尋ねてください。積極的な学修への姿勢が結果を導きます。メール (rumimiyasaka@shinshu-u.ac.jp)にて質問相談は随時受け付けますが、必要に応じて面談も行います。						
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外(評点は0点)となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。						

(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	「SDGs×Discussion SDGsで学ぶ英語ディスカッション」 978-4-7647-4150-8
【参考書】	授業内で紹介します。